
太陽の子鴨居駅前保育園

評価結果

2015年2月

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関第26号 横浜市福祉サービス第三者評価指定機関第17号

評価実施機関：特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号

TEL045-228-9117・FAX045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>



実施概要

事業所名	太陽の子 鴨居駅前保育園
報告書提出日	2015年1月9日 (評価に要した期間5か月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

* 評価方法

1. 自己評価 **【実施期間：2014年9月1日～2014年10月15日】**
 - ・園長が趣旨説明をし、評価機関の説明の後、常勤・非常勤が勤務時間等を利用して自己評価に記入した。
 - ・各職員が書いたものを乳児・幼児会議で意見交換し、合意していった。またそれを基に全員で話し合い、確認しながら一つにまとめた。
2. 利用者家族アンケート調査 **【実施期間：2014年10月1日～2014年10月15日】**

配付：全園児の保護者（58家族）に対して、園から手渡しした。
回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査 **【実施日：2014年11月12日、2014年11月18日】**
 - 第1日目
 - ①午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。
 - ②午後：書類調査～事業者面接調査（主任）
 - 第2日目
 - ①午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。
 - ②午後：職員ヒアリング（クラスリーダー5名、看護師、栄養士、非常勤職員、保育補助員1名）～事業者面接調査（エリアリーダー、主任）
4. 利用者本人調査 **【実施日：2014年11月12日、2014年11月18日】**
 - ①訪問日両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子などを観察。
 - ②乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間などに適宜聞き取り調査を実施。

評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについての総括)

【施設の概要】

太陽の子鴨居駅前保育園は、JR横浜線鴨居駅北口から徒歩 1～2 分、駅ホームから道路の向かい側に臨める 6 階建てマンションの 1 階にあり、平成 24 年 4 月、長谷川興産株式会社が開設しました。交通に便利でありながら周囲は自然環境にも恵まれ、鶴見川の河原で水鳥を見たり、畑が広がり農作物を見たりできる立地となっています。

園は南に面して 5 つの保育室（4,5 歳児は合同）が並び、廊下を隔てて事務室兼医務室、教材室、更衣室、沐浴室、調理室、トイレがあります。各保育室は内部からドアで行き来でき、ガラス窓により見通しもよくなっています。保育室南面の外に人工芝の園庭があり、かけっこやシャボン玉、夏にはプール遊びなどができます。マンション駐車場に 2 台分の駐車スペースを確保しています。

定員は 69 名です。延長保育、一時保育を実施していて、開園時間は、平日は 7 時 30 分～20 時、土曜日は 7 時 30 分～18 時 30 分です。

保育理念は「のびのび すくすく にこにこ 子ども・保護者・地域・保育者 みんなで感動を分かち合い、満足できる、笑顔あふれる保育園を目指します」と定め、理念を基に保育目標を「心身共にたくましく元気な子ども・友達と仲良く遊び思いやりのある子ども・感性豊かで自分で考え行動ができる子ども」とし、保育方針を「安心できる人間関係、整った保育環境の中で自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図ります ・様々な経験や人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます ・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます」としています。

1. 高く評価できる点

●子どもたちは仲良く過ごす中で優しさやマナーを身につけています

子どもたちは登園すると、保育室で保育士に見守られながら好きな遊びをしています。保育室はガラス越しに隣が見通せるので、年下の子どもが泣いたりすると年上の子どもが心配そうにガラスに頬をつけるようにして見ていたりします。3～5 歳児が散歩に行く時も 4,5 歳児が 3 歳児と手をつないで仲良く列を乱さず歩いて行きます。トイレの前でクラスの違う子どもと一緒にいたら、年上の子どもがトイレのスリッパを年下の子どもに譲っていました。年下の子どもも年上の子どもを見習ってスリッパを揃えています。トイレの入り口のスリッパはいつ見てもきちんと次の人が履きやすいように揃えられていました。

保育室や公園で遊ぶ時も楽しそうですが、遊具を使う順番などよく守られています。製作に使うソフトペンも友達同士で色を交換して使い、粘土で作ったお弁当を保育士や友達に持って行ったりします。歌は元気よく歌い、話はよく聞き、給食は「おいしい、おいしい」ともりもり食べますが、お代わりの約束を守り、友達の分もあるようにするなど心を配っています。

保育士は、指示を出す時、よいかよくないかを考えさせることが多いです。子どもたちも時にはルール違反やけんかで泣くこともありますが、すぐ笑顔に戻ります。保育士は乳児から幼児まで子どもをほめること

が多く、そうでない時は叱るのではなく「残念」「かなしい」というような表現をしています。保育士同士も仲良くお互いに子どもの前で「ありがとう」と言い合うように和やかで、子どもたちも、自然にそのような雰囲気を感じ、園内に穏やかな空気が流れ、笑顔がいっぱいの保育園となっています。

●職員は連携し効果的な保育をしています

職員は職員会議等でよく話し合い、報告・連絡・相談を大切にしながら、日頃の保育業務は自然に分担して行っています。例えば1人は子どもに絵本の読み聞かせ、1人は次の活動の準備、1人はトイレに行く子どもの世話等、声に出さなくても「阿吽の呼吸」で助け合っています。給食時には必ず栄養士や調理員が保育室を回って様子を見たり手伝ったりしています。最近入職した看護師も各保育室を回りながら、保育士と協力して仕事をしていました。事務室に「手のあいた先生にやってほしいことノート」があり、手作業の依頼など誰でも書き込めて、終わったものは印をつけています。ヒアリングでも職員は一様に「職員同士が仲良く何でも言える」「園長、主任も相談しやすく、ずっとここで仕事をしたい」などと話すのを聞くことができました。

運営会社として力を入れている「絵本の読み聞かせ」や「食育」について、「自然に触れること」や「わらべ歌」なども加えて、園はつながりを持たせ保育に取り組んでいます。食育については、栄養士を中心に各クラス代表、主任、園長で構成される給食会議で子どもの現状からどんなことが必要か話し合い、月別の年間カリキュラムを作成するところから始めます。食べ物について栄養や調理法、季節の食材、歯の大切さや体の仕組み、包丁等調理器具の使い方、実際のクッキングなど、子どもの発達過程に沿って教え、実践しています。保育士は、歯の磨き方や残さずよくかんで食べることなどを教え、近所の畑では野菜を見たりじゃがいも掘りをさせてもらったりしていますが、その前後にテーマに合う絵本や紙芝居を読み聞かせたり、歌を歌ったりしています。協力して教材を作ったりもします。職員は子どもたちと、給食中「もったいないばあさんが出るよ」と絵本の言葉を言ったり、自由遊び中「食育かるた」で遊んだりしています。

このように職員により作られる総合的な保育の中で、子どもたちはよく食べ、よく遊び、健やかに育っています。

2. 工夫・改善が望まれる点

●さらなる地域の子育て支援と地域交流の充実を

園は、保護者向けにブログを頻繁に更新するなど情報提供をしていますが、地域住民への情報提供や育児相談に応じることは積極的になされていません。一時保育をしています。利用者はまだ少ないです。

開園3年目ということもあり、これまでは、内部の体制作りが中心課題であったと思われませんが、今後は職員の豊かな経験や技能を活かして、定期的に相談日を設け子育ての相談に応じたり、地域住民向け子育て支援の講習会や研修会の講師をしたりするなどの地域貢献が期待されます。また、園も積極的に地域の力を借りて、例えば近隣のじゃがいも掘りをさせてもらう農家に、ボランティアとして野菜作りを教えてもらって栽培するなど、地域との交流がさらに深まることを期待します。

●保育所としての自己評価の文書化と公表を

園の運営会社は職員の目標設定や振り返りを含む人事評価は同じ書式で行っていて、園長が面接で見た後会社に送られています。しかし、園は、現在「保育指針」においても努力義務となっている「保育士及び保育所の自己評価並びにその公表」については取り組んでいません。

園は実際に保育課程や指導計画の策定の中で振り返り実践している部分も多いので、自己評価を公表し、保護者や地域住民に説明することで、保育所の説明責任や社会的責任を全うすることを期待します。








分類別評価結果






「ひょう太マーク」は、各評価分類の水準を表しています。
 3 つ：高い水準にある 2 つ：一定の水準にある 1 つ：改善すべき点がある



評価領域 利用者本人（子ども本人）の尊重




評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育方針の共通理解と 保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の理念は「のびのび すくすく にこにこ 子ども・保護者・地域・保育者、みんなで感動を分かち合い、満足できる、笑顔あふれる保育園を目指します」と定め、理念を基に保育目標を 「・心身共にたくましく元気な子ども・友達と仲良く遊び思いやりのある子ども・感性豊かで自分で考え行動ができる子ども」とし、保育方針を「・安心できる人間関係、整った保育環境の中で自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図ります ・様々な経験や人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます ・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます」として、利用者本人を尊重したものとなっています。 ・ 理念や保育目標、保育方針は全職員に配付している「保育課程」に記載され、職員会議でも説明されていて、これを基に指導計画が作成されるので、職員は理解しています。園の玄関にも見やすいところに掲げられています。 ・ 保育課程は、保育理念・保育目標に基づき、一人一人の子どもの発達過程や家庭状況を踏まえるなど、子どもの最善の利益を第一義にしています。 ・ 乳児等言語化できない子どもの表情・態度から意思を汲み取っています。幼児には考えさせたり意見を聞いたりして、子どもの意見・要望を聞いて指導計画の見直しに活かしています。指導計画には柔軟性を持たせ、例えば遊びに子どものしたいこと（ドッジボール、大縄跳びなど）を取り入れ、大縄跳びは運動会にも取り入れました。
<p>- 2 子どもの発達や状況に 応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月入園者には、入園前に児童票・児童健康票に記入してもらった上で、入園説明会を実施し、保護者に面接しています。入園説明会当日、子どもの様子を観察しノートに記録して共有しています。年度途中の入園者にも、同様に個々に丁寧に説明しています。 ・ 短縮保育（ならし保育）はおよそ1週間としています。子どもに無理のないようにならしていくようにしています。また、入園説明会で保護者によく説明し、保護者の事情にも配慮しています。 ・ 0、1、2歳児については、所定の連絡ノートを使用し、毎日、子どもの様子について保護者への丁寧な連絡を心がけています。保護者も家

	<p>庭での様子を記入し相互に理解を深めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月間指導計画や個別指導計画は、子どもの発達や状況に応じて作成しています。評価、改訂に当たっては、子ども一人一人の個人差や個性に配慮し、保護者と相談して意向を反映するように心がけています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内外の清掃はよく行われています。担当者が行きチェックするだけでなく、日常的に整頓・清掃をする習慣があり、園内はきれいですっきりしています。 ・ 保育室は陽光が十分取り入れられる構造になっていて、明るい日差しの中で子どもたちは遊び、午睡時等はカーテンを引き、調整をしています。 ・ 0歳児保育室内に専用の沐浴室と廊下側に共用の沐浴室があり、いつでも使用できます。沐浴室に温水シャワーも備え付けられています。 ・ 保育室内で自由遊びの時は、ブロック、絵本、人形等、コーナーをいくつか設けて、好きな遊びをしています。各保育室は一室なので食べることと寝ることを同じ部屋でしています。しかし、給食の後、子どもたちは給食を食べた場所の反対側で着替えをして、保育士が読み聞かせなどを行っています。その間に他の保育士が床を丁寧に二度拭きするなどして、落ち着いてから布団を敷き、午睡に入っています。早く眠くなった子どもは別の場所で寝かせています。
<p>- 4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳未満児については、子どもの生育歴や心身の発達を考慮して、個別指導計画を作成しています。3歳以上の幼児についても、特別な課題がある子どもや気がかりな子どもの場合には、個別指導計画を作成しています。個別指導計画については、保護者に説明し、同意を得ています。 ・ 子どもや家庭の個別の状況・要望は、児童票、児童健康台帳、個別指導計画等定められた書式に記録しています。子どもの記録は事務室のロッカーに保管し、職員は共有しています。 ・ 重要な申し送り事項は記録し、進級時には担任が次の担任に伝達するだけでなく、時間をかけて話し合っています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れ、全員で理解して保育に当たろうとする姿勢があり、個別のケースについては、クラスや職員会議で話し合い、個別の記録に反映させています。職員は積極的に研修に参加し、全職員に報告し共有するとともに、得た知識を保育に活かしています。 ・ 園は段差がなくバリアフリー構造になっていて、広いユニバーサルデザインのトイレなど車椅子にも対応できる設備があります。横浜市北部地域療育センターなどと連絡を密にして、助言や情報を得て、障がいの特性を考慮した個別指導計画を立て、職員は共有しています。 ・ 毎年、虐待の定義や最近の情報を職員に周知しています。虐待に至らないように、日頃から保護者と連絡を取り合い、家庭支援が必要と思

	<p>われる保護者には、さりげなく声かけをしたり、ゆっくり話を聴いたりする機会を設けて、育児不安を軽減できるようにするなど配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> アレルギー疾患のある子どもについては、かかりつけ医の指示書を受け、適切な対応をしています。食物アレルギーについては、除去食を提供しています。毎月の献立について保護者にチェックしてもらい、除去食を提供する場合は、園長または主任、クラス担任、栄養士で食事を確認してから、専用のトレイに載せて提供しています。 文化や生活習慣が違う子どもが在籍しているときは、違いを認め尊重し、その国について子どもたちに話したり、その国の挨拶等を朝の会で全員で言ったりするなど工夫しています。その子どもと保護者に合わせて、身振り手振り、手紙に仮名をふるなど理解できる方法を探し対応しています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「苦情相談窓口」についての文書が保護者に配付され、入園説明会等で説明されています。要望・苦情を受け付ける担当者として園長、苦情解決責任者として運営会社の保育事業部長が決まっています、迅速に対応する仕組みがあります。 地区民生委員2名が第三者委員として決まっています、直接苦情を申し立てることができます。 懇談会や保護者の代表と保育園等が話し合う運営委員会で、進んで要望や苦情を聞いています。 玄関に意見箱が設置されています。意見箱の意見やその他の苦情はデータを整理して、解決策もファイリングしています。個人情報でない、保護者が共有できる意見は返答を玄関に掲示しています。



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもちゃや教材等は子どもが手に取りやすいように低い位置に種類ごとに箱に分けて収納され、好きなものを自分で取り出して遊べるようになっています。 ・ 子どもの年齢や発達、季節にあわせておもちゃや本などを入れ替えています。0歳児は伝い歩きが始まると部屋を広く使えるように片付けて歩きやすくするなど環境にも配慮しています。 ・ 子どもの自由な発想を受け入れて保育に活かしています。バスごっこの歌から子どもたちはみんなで椅子を並べて大きなバスごっこに発展し、生活発表会の「おおきなかぶ」では身近な好きな動物に変身して演じています。 ・ 年齢に応じて事前にわかりやすくルールを伝え、みんなで遊ぶ楽しさやルールを守ることの大切さを伝えています。 ・ 保育室ではクワガタやカタツムリを飼育し、見て触ってと観察しています。散歩時には図鑑で調べた虫を探したり、花や野菜の成長を観察したりして保育に活かしています。 ・ 子どもの年齢に合わせて経験したこと、感じたこと、想像したことなどをいろいろな方法で表現して遊んだり、また友達の表現を見て楽しむ機会を作るよう配慮しています。 ・ 子ども同士のけんか等は年齢に応じて子どもたちのやり取りを保育士が見守り、相手にうまく伝えられない時は保育士が代弁しながら気持ちが伝えられるよう援助しています。乳児は危険のないよう保育士が間に入るなど成長に応じて対応しています。 ・ 散歩マップを作成し天気の良い日は積極的に散歩や野外活動を取り入れています。散歩記録によると午前、午後の2回行く日もあります。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが興味を持ちそうな食事に関する絵本や紙芝居などで食事が身近になり、食事時には一口食べるよう声掛けするなどして子どもが自分から食事に向かえるよう援助しています。 ・ 毎日の給食で4,5歳児の当番は配膳、片付けの手伝いをしています。その他、食育計画で年齢に応じてそら豆に触れる、トウモロコシの皮むき、食事のマナー、三角食べ、クッキングなどで関心を持つ工夫をしています。 ・ 季節や行事にあわせて、食材や彩りに気を配り子どもの喜ぶ食事作りをしています。 ・ 給食会議、保育士の意見や子どもの様子から子どもの好き嫌いを把握して酢の味を薄くするなど調理方法を工夫しています。栄養士は毎日各クラスを回り、子どもたちに声をかけ、摂食状況を確認しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の給食だよりに保育園の給食の特徴、子どもたちの人気メニュー、食育の様子、食中毒の予防法、食べ物からの熱中症対策など食に関する情報を提供しています。 ・ 保育参観日に子どもと一緒に給食を食べてどういうものを食べているのかを保護者が試食する機会を設けています。 ・ 眠れない子ども、眠くない子どもは午睡を強要せず、体を休めるよう静かに布団に横になっているよう促しています。保育士は昼食後すぐ眠くなった子ども、眠れない子どもそれぞれに対応しています。 ・ SIDS対策として0,1歳児は5分間隔、2,3,4,5歳児は10分間隔の呼吸チェックの他、うつぶせになっていないか、呼吸音、顔色、汗、寝具が顔に掛かっていないかなどもチェックしています。 ・ 幼児は散歩に行く前など一斉にトイレに行く時間を設けていますが、一人一人の排泄リズムの個人差を考慮していきたいという気持ちを大切にしています。 ・ トイレトレーニングは園の排泄の考えとして職員研修資料に「行きたくないと言いつつ時期もあり、無理強いつつ行きたくなくなる時期を待つ」とあるように子どもの発達にあわせて対応しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は乳幼児健康講座などの研修により子どもの健康管理を学び、それに基づいて健康状態を把握しています。 ・ 歯磨き指導は0歳児以外の子ども達に「くろわんしろわんはみがきシュッシュ」などの本や紙芝居で歯磨きの大切さを伝えていきます。昼食後危険のないよう座って歯磨きをしてから、保育士が一人一人に仕上げ磨きを行っています。 ・ 健康台帳に年2回の健康診断、年1回の歯科健診の結果を記録しています。健康診断の結果は口頭で保護者に結果を伝え、歯科健診の結果は問題のあった子どもだけ紙面で報告しています。 ・ 保護者には「入園のしおり」で登園停止基準、感染症の疑いが生じた場合の対応等を入園時に説明して周知しています。感染症が発生した時は直ちに、保護者に症状、潜伏期間、感染経路などの情報をボードに記載し提供しています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備・遊具の清掃や消毒などの衛生管理に関するマニュアルは6か月に1度運営会社で見直しをしています。前と見直し後と比較して、訂正箇所がすぐわかるよう工夫しています。6か月ごとの見直し後マニュアルの内容は職員会議で確認し職員に周知しています。掃除の場所に各保育室の床、ドアノブ、手すり、テーブル、椅子、玩具等使用用具、薬剤、清掃方法、留意点を記載したマニュアルを掲示しいつでも見ることが出来ます。園内はそれに基づいて清掃され、清潔で適切な状態が保たれています。午睡の寝具は園で貸




	<p>し出しており、シーツは週1回、布団は1か月に一度消毒乾燥して衛生に留意しています。</p>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理マニュアルとして園児の状況把握、日常環境の整備、危険予知、未然防止のための措置や園内、散歩時、水遊び、事故、ケガなどそれぞれの場合を想定した対応が記載され職員に周知しています。 ・ 地震、火災など想定される災害を園舎内、園庭、園外保育中等場所を変えて毎月テーマを決めて避難訓練を実施しています。 ・ 子どものケガについては軽傷であっても保護者に口頭で伝え登降園チェック表に記録し、翌日には保護者からその後の様子を聞いて状況把握に努めています。 ・ 事故やケガなどは職員会議で報告し同じ事が起こらないよう改善策を話し合い、再発防止に努めています。 ・ 不審者等の侵入防止策として、出入り口がオートロックになっており、防犯カメラが作動して事務所で確認することが出来ます。緊急通報体制が作られ、不審者対応訓練を実施して通報の仕方を確認しています。
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は子どもがわかりやすい言葉を選んで納得できるよう説明するなど穏やかに話をしています。また、保育士は見守りながら優しく接し、一人一人の子どもの意見を聞くようにしています。 ・ 保育士が必要に応じてプライバシーを守る場所を作る事は出来ますが、子どもが一人になれる場所は今のところありません。今後はコーナーや衝立などで一人になれる場所を作る工夫が望まれます。 ・ 園長は守秘義務の意義や目的を職員会議で事ある毎に話して職員に伝えています。個人情報の取り扱いについてのガイドライン『「太陽の子」保育園・プライバシーポリシー - 』を作成し職員に周知しています。 ・ 特に性別を意識することなく、背の順などで整列し、グループ分けはくじ引きなどで決めて性差による区別はありません。役割を固定的にとらえる話し方、表現をしないよう園全体で認識しています。
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者には入園式や懇談会などで保育の基本方針を説明しています。 ・ 月1回の園だより、クラスだよりを配布し、園での保育方針を日常の保育の中で理解されるよう伝えています。又いつでも目に触れるよう玄関に掲示しています。 ・ 連絡ノートは全園児が持ち、乳児は毎日、幼児は保護者の要望により随時利用し、保育士は必ず記入して情報交換をしています。 ・ 個人面談は年1回実施するほか、保護者の要望により随時実施しています。年2回実施されるクラス懇談会は現在のクラスの様子、これからの子どもたちの成長の姿、保育の目的などを説明しています。

- ・ 保護者からの相談は主に担任が担当し、保護者の気持ちに寄り添うよう真摯に受け止めています。また適切な対応が出来るよう園長、主任が助言をしています。
- ・ 園だよりは毎月発行され園での様子を知らせています。またクラスだよりは各クラスの様子やエピソードなどで情報を伝えています。ブログは、ほぼ毎日のように頻繁に更新して保育園での様子を知らせています。
- ・ 日常の様子を見てもらう保育参観は保護者が参観しやすいよう2週間の日にちを設け年3回実施しています。また、保育参加は夏祭りなどの行事で行っています。
- ・ 年3回、運営委員会があり、保護者代表の委員は保護者との橋渡しとして意見を述べ、意見交換をしています。



評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て支援ニーズや要望を把握するための取り組みは今後の課題と認識していますが、具体的な対応は講じていません。現在地域住民に対する相談事業は実施していません。 ・ 地域の子育て支援ニーズについてまだ職員間で話し合いは持たれていません。今後は自らの専門性を利用者のみならず、地域の子育て支援ニーズに応じて地域に還元することが求められます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民への専門性を活かした育児支援に関する情報提供や育児相談は実施していません。 ・ 必要な関係機関、医療機関、療育機関等様々な社会資源など相談機関の情報はありますが、積極的に相談事業において職員が共有するまでには至っていません。これからは地域住民への専門性を活かした育児支援に関する情報提供や相談機能の提供が望まれます。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・ 地域コミュニティへの 働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣との友好的な関係を築くため、散歩時には挨拶を交わし、農家の方に畑で成長する姿を見せてもらったり、育てる様子を教えてもらったりするなど、交流を図っています。 ・ カルバリーチャペルで人形劇を見せてもらったり、みどりっ子まつりに参加したりして地域の施設を利用しています。4,5歳児は消防署見学をして署員の話を行いました。 ・ 幼児クラスは他園に出かけロッククライミングに挑戦したり、他園の園児が当園に来て芋掘りをしたりと交流を図っています。 ・ 町会に不参加で地域の団体や機関と定期的、計画的な交流はまだ図られていません。
<p>- 2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のサービス内容などの情報をパンフレット、ホームページで地域や関係機関に随時提供しています。横浜市のホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」に保育園の情報を提供しています。 ・ 問い合わせや質問に対しては丁寧に対応しています。ホームページ等で必要な情報は提供しています。 ・ 利用希望者の問い合わせに対しては常時対応しています。担当は主任ですが他の職員も資料に基づいて統一して対応できるようにしています。園のパンフレットに見学に関する問い合わせ先が明記され、利用希望者には問い合わせ時に見学できることを案内しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の 受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の受け入れのためのマニュアルには、実習生の受け入れにあたりオリエンテーション、守秘義務、個人情報の留意、園側の対応等が記載されています。受け入れにあたりあらかじめ職員や利用者に基本的な考え方や方針が理解されるよう主任と担当保育士で指導案を作成し、説明しています。 ・ 主任は受け入れ担当者として「受け入れ報告書」を作成し記録を整備して効果的な実習が行われるよう学校側と話し合い、一日実習、部分実習等の学校の規定に沿って指導案を作成しています。 ・ 現在ボランティア受け入れのマニュアルはなく、受け入れもしていませんが、今後は近隣の畑で野菜作りを教わるなどボランティアを受け入れに取り組む姿勢が期待されます。




評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所運営に十分な人材構成であるかチェックし必要な人材の補充は、園長が運営会社に知らせ、人事部がホームページ、ハローワーク、チラシなどで募集をしています。運営会社の人材育成計画に理念・方針をふまえた保育を実施することが明記されていて、入職者は運営会社で必ず新人研修を受けています。運営会社が同じ書式で、個々の職員の資質向上に向けた目標を定め、達成度を評価しています。 ・ 職員の研修ニーズにも配慮し、主任が研修計画を作成しています。必要に応じて全職員参加の内部研修会を開き、園外の研修会にも積極的に参加しています。研修を受けた職員は報告書に記入し全職員で共有していて、職員会議等でも報告しています。実技的な研修を受けた職員を講師に、自主的にわらべうた、体操等の勉強会を企画して行うこともあります。 ・ 非常勤職員にも業務マニュアルを配付し説明しています。非常勤職員も職員と同様に内部研修に参加していますし、希望すれば外部研修に参加できます。 ・ 非常勤職員の指導担当者は主任でコミュニケーションはよくとれています。また、経験豊富な非常勤職員には、新人職員は子どもについて聞き、非常勤職員は新しい保育の知識を得るなど、互いに学び合っています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員は運営会社の人事評価の書式に記入することにより半期に一度自己評価をしています。しかし、保育園の自己評価を計画的に行う仕組みは構築していないので、仕組みを作ることが期待されます。職員のモチベーションは高く内部研修、外部研修に積極的に参加し、その報告でよい事例があれば勉強会を開いたりしています。 ・ 指導計画は書式を定めて保育士が書き込み、振り返りを文章化しています。自己評価は意図した保育のねらいが達成されたか記入し、実践を改善したり新たな課題を設定したりして、次の計画を作成しています。 ・ 職員会議等でよく話し合っていて、園全体の課題については、全職員で改善に取り組んでいます。しかし、保育園としての自己評価を書面にまとめ公表することはしていません。事業報告書には年度末に簡略化されたまとめを記入しているので、さらに保育理念、子どもの発達援助、保護者支援、保育を支える組織的基盤等を自己評価の観点として取り組み、自己評価を行い、保育園の自己評価として公表することが望まれます。

職員のモチベーションの維持



- ・職員のモチベーションを高めるような研修や話し合いは行われてはいますが、経験・能力や習熟度に応じた役割を期待水準として明文化することはしていません。今後はレベル別の期待水準を作成し、職員の目標を設定することが望まれます。
- ・職員にはクラスリーダー、行事等の係、保護者対応等可能な限り権限を委譲し、自信と責任を持たせていて、日常的に職員会議等で、誰でも業務改善について意見を言える関係が作られています。その結果話し合っって清掃方法を変更したりしています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会社の就業規則の中に倫理規定が明文化され、全職員に配布され、研修で周知しています。 ・トイレトペーパーやペーパータオルの使用を必要な量だけにするなどゴミの減量化に努めています。調理室でも残菜が出ないおいしい給食を心がけ、実際に残菜は少ないです。牛乳パックやプリントの裏紙を有効活用して、園内にも牛乳パックで作ったベンチに布のカバーを付け、子どもたちが座るなど、リサイクルの家具や作品があります。部屋にいない時は電灯やエアコンをこまめに消すなど省エネルギーの取り組みもしています。 ・環境配慮の取り組みは、実践されていますが園としての方針は明文化されていません。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に配布している業務マニュアルや園のしおり、事業計画書等に、理念や保育方針、保育目標は掲載されていて、園の玄関近くの見やすい位置に掲示されています。職員は入職すると運営会社の新人研修に参加して、そこで理念等について研修を受けています。職員会議等でも園長・主任が確認していて、職員に浸透しています。 ・各クラスの保護者代表等と職員で運営委員会を構成していて、意見交換をしています。重要な意思決定はもちろん、日常の保育についても保護者の意見を聞き、説明しています。運営委員会の議事は職員・保護者に報告されています。 ・運営会社は人材育成に力を入れています。主任クラスを計画的に育成するプログラムは未構築で、今後の課題となっています。 ・主任は個々の職員が良好な状態で仕事に取り組めるように、声かけをしたり保育について助言をしたりしています。ヒアリングでも「主任は相談しやすい。」「話をよく聞いてくれる」という声を多く聞きました。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に影響のある国の政策、県・市の施策等の情報は、運営会社、緑区園長会、マスメディアなどから得て職員に周知しています。 ・運営面での重要課題は職員に周知されています。運営会社としては、待機児童の多い地域での保育園開設、園としては地域子育て支援等を課題としています。 ・運営会社で中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成して、職員に周知しています。次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを常に検討し、目標を策定しています。

利用者家族アンケート分析

【実施概要】

実施期間：2014年10月1日～2014年10月15日

実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

回収率：配付58件、回収29件、回収率50%

*文中の満足度とは「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合を足したものです。

【結果の特徴】

問1「保育目標、保育方針」について69.0%の保護者が「良く知っている」「まあ知っている」と答えていて、答えた人の95.0%の保護者が「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。逆に「まったく知らない」「あまり知らない」と答えた保護者は13.8%でした。今後はさらに保護者が保育目標、保育方針を理解する機会が増える事が望まれます。

問2～問7の中で満足度の高い項目を挙げると、

- ・給食の献立について ・お子さんは給食を楽しんでいるか（以上96.5%）
- ・園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供について ・園の行事や開催日や時間帯への配慮 ・あなたのお子さんが大切にされているかについて（以上93.1%）
- ・保育園での1日の過ごし方についての説明 ・年間の保育や行事についての説明 ・遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについて ・お子さんの体調への気配りについて ・あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて（以上89.7%）

などで、その他の項目も「遊び」「生活」については一部を除いて90%近くの満足度になっています。

一方他の項目に比べると満足度がやや低かったものを挙げると、

- ・開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなった場合の対応（57.1%）
- ・意見や要望への対応について（62.1%） ・保護者からの相談事への対応（66.6%） ・年間の保育や行事に保護者の要望がいかされているかについて ・施設設備について ・送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について（以上68.9%）などとなっています。

保育園の総合満足度は82.8%（満足48.3%、どちらかといえば満足34.5%）となっています。

個別の意見では「食育があって良かった」「食に対して嫌がることなく楽しんでいるところに感謝」「先生方の教え方がうまい」「園外のお散歩や交流が沢山あり園庭の事を気にしなくなった」「一日の様子など帰りの時教えてくれる、一緒に過ごせない時間何をしているか子どもの様子など報告してくれて嬉しい」というような肯定的な意見がある中、「園庭がないため積極的に公園で遊ばせて欲しい」「担任が降園時いないと話を伝えてもらえない」「もっと子どもの様子の話を聞きたい」「報告がない」「園長にしかわからない事が多く回答が遅い」「確認しますがが多い」というような声もあります。今後、保護者の心配や不安が取り除かれるような取り組みを進めていく事が期待されます。

利用者家族アンケート集計結果

調査期間 : 2014年10月1日～15日

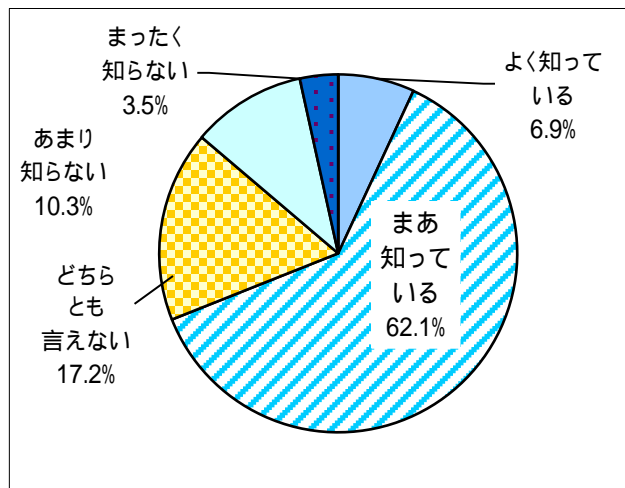
施設名: 太陽の子鴨居駅前保育園

回収率 : 50.0% 配布 58 枚中

回収 29 枚

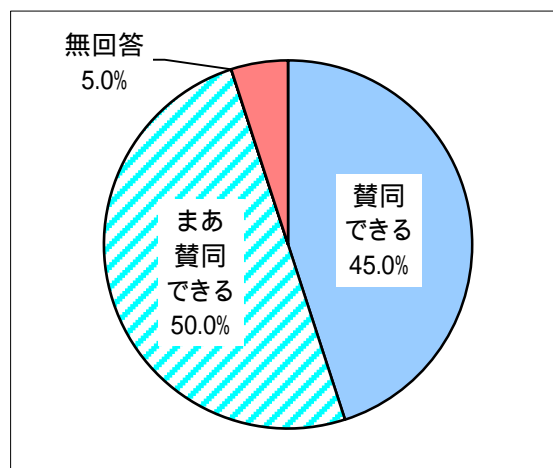
	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	(人)
何歳児クラス	5	6	8	4	3	3	0	

問1:	よく知っ ている	まあ知っ ている	どちらと も言えな い	あまり 知らない	まったく 知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	6.9	62.1	17.2	10.3	3.5	0.0	



付問1:

付問1:	賛同 できる	まあ賛同 できる	どちらと も言えな い	あまり 賛同 できない	賛同 できない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	45.0	50.0	0.0	0.0	0.0	5.0	



問2: 入園する時の状況について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受入については	34.5	13.7	6.9	0.0	41.4	3.5	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供について	31.0	37.9	17.2	3.4	10.3	0.0	
園の目標や方針についての説明には	27.6	48.3	6.9	6.9	6.9	3.4	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	44.8	41.4	10.3	0.0	3.5	0.0	
保育園で1日の過ごし方についての説明には	41.4	48.3	10.3	0.0	0.0	0.0	
費用やきまりに関する説明には	34.5	44.8	13.8	0.0	6.9	0.0	

問3: 年間の計画について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	41.4	48.3	10.3	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	24.1	44.8	10.3	3.4	17.2	0.0	

問4: 日常の保育内容について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
「遊び」について							
クラスの活動や遊びについては	51.7	37.9	6.9	0.0	0.0	3.4	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	41.4	34.5	13.8	6.9	0.0	3.4	
園のおもちゃや教材については	48.2	44.8	6.9	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	44.8	41.4	13.8	0.0	0.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	41.4	44.8	10.3	0.0	3.4	0.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	34.5	55.2	0.0	6.9	3.4	0.0	

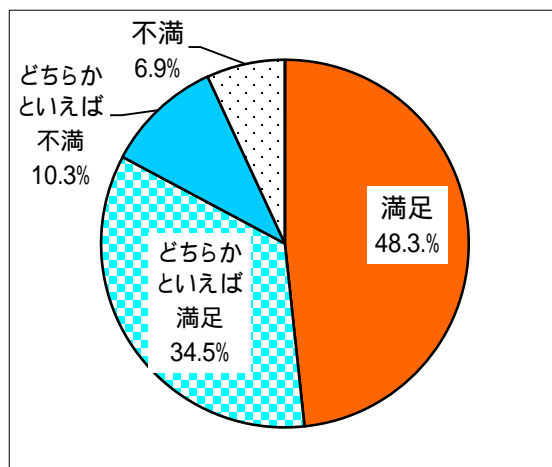
「生活」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	65.5	31.0	3.4	0.0	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	48.3	48.3	0.0	0.0	3.4	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	51.7	37.9	3.4	0.0	6.9	0.0	
昼寝や休息がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	51.7	31.0	13.8	0.0	0.0	3.4	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	27.6	41.4	6.9	3.4	20.7	0.0	
お子さんの体調への気配りについては	48.3	41.4	3.4	3.4	0.0	3.4	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41.4	34.5	0.0	10.3	10.3	3.4	

問5： 快適さや安全対策などについて	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	24.1	44.8	20.7	6.9	3.4	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気 になっているかについては	37.9	55.2	3.4	3.4	0.0	0.0	
外部からの不審者浸入を防ぐ対策に ついては	44.8	44.8	3.4	6.9	0.0	0.0	
感染症の発生状況や注意事項などの 情報提供については	37.9	44.8	10.3	6.9	0.0	0.0	

問6： 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる 話し合いの機会については	27.6	51.7	17.2	0.0	3.4	0.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子 や行事に関する情報提供については	48.3	44.8	3.4	3.4	0.0	0.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮 については	51.7	41.4	3.4	3.4	0.0	0.0	
送り迎えの際のお子さんの様子に関す る情報交換については	31.0	37.9	20.7	6.9	3.4	0.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡 体制については	33.3	52.4	4.8	4.8	4.8	0.0	
保護者からの相談事への対応には	33.3	33.3	23.8	4.8	4.8	0.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してく れるなど、残業などで迎えが遅くなる場 合の対応には	19.0	38.1	23.8	14.3	4.8	0.0	

問7： 職員の対応について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされてされ ているかについては	51.7	41.4	3.4	3.4	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽し んでいるかについては	55.2	34.5	3.4	3.4	0.0	3.4	
アレルギーのあるお子さんや障害のあ るお子さんへの配慮については	20.6	24.1	3.4	6.8	41.3	3.4	
話しやすい雰囲気、態度であるかどう かについては	44.8	27.6	20.7	6.9	0.0	0.0	
意見や要望への対応については	34.5	27.6	20.7	10.3	3.4	3.4	

問8： 総合的な評価	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	48.3	34.5	10.3	6.9	0.0	





利用者本人調査

【実施概要】

実施日時：2014年11月12日、2014年11月18日

実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

0歳児クラス（つくし組）

保育室の園庭側に集まって遊んでいます。保育士が一人の子どもを抱っこして、他の子どもはそれぞれ好きなおもちゃ（車、人形など）で遊んでいます。トイレの前の陰で子どもに声掛けしながらおむつ交換する姿が見られます。おむつ交換は一斉に、順にするのではなくゆったりとしています。保育士は子どもの鼻をかんであげたり、手を拭いてあげたりしてテーブル付椅子に座らせておやつの準備をします。おやつはその子のペースで進めます。保育士が部屋の中央に山状したマットや布製トンネルを出して、登ったりくぐったりして遊びます。保育士は「できたね！」と褒めたり、できない子どもには手を貸したりしています。違う遊びに移るときは自然に前の物を片付けて誘導していて、生活のリズムが出来ているようです。保育士は昼食の準備にテーブルを出しエプロンをつけます。給食は子どものペースでゆっくり食べています。こぼすこともあります。みんな良く食べています。

午睡はテーブルを片付け、掃除をしてすっかりきれいになってから布団を敷いています。一人早く眠くなった子どもは園庭側に布団を敷き寝かせていて、一人一人に対応している姿が見られます。

1歳児クラス（タンポポ組）

保育士が「でんしゃごっこ」の本を読んでいます。自然に子どもが集まり、動物が出てくると子どもたちは喜びます。おやつを食べて「お手手をパッチンして、ごちそうさま」と一斉に挨拶します。片付ける保育士と子どもと手遊び歌（『肩たたき』など）をする保育士と連携が取れています。「片付けてお写真撮ろうか」と壁際に並んで座って「良いお顔」をします。「おかたづけ」「お座りしましょう」「ミッキーマウス」など歌で動作の区切りをしています。テーブルを出して製作の準備。保育士が「き、き、きのこ」と歌います。コーヒーフィルターに水性ペンで模様を描き、濡らしてにじませてきのこのかさに見立てます。保育士は「魔法の水よ、ペンは取り換えっこして使おうね」など声掛けして、「すてき、すてき」と褒めています。みんな本当に素敵な作品が出来ました。この後片付けて給食の準備。自分のペースですが、みんな良く食べています。食後、子どもたちは歯磨きですが、歯ブラシを口にして座って待っています。仕上げ磨きというよりまだまだ保育士が中心の歯磨きのようです。

2歳児クラス（ちゅうりっぷ組）

園庭側の長いベンチに集まりブロックなどで遊んでいます。一人の子どもがティッシュ箱からティッシュを取って自分で鼻を拭いてゴミ箱に捨てる姿が見られました。朝のあいさつの歌を歌って皆で挨拶をして、一人一人の顔を見て点呼をとり「元気ですね」「あら素敵」と声をかけます。「今日は三角公園に行きます」出発前のトイレはトレーニング中の子が多く「先生、おしっこ出た」「そう、出たの、えらいね」「パンツはくの上手」と褒められています。ピンクの帽子、上着を着て出かけます。公園で「お話があります。」と公園での注意を聞いてから遊びます。滑り台で遊ぶ子ども、砂場で山を作る子ども、穴を掘る子ども、動

きまわる子どもとそれぞれに楽しんでいます。他園の子どもが来て滑り台の順番をめくって注意された子どもが泣き出しました。保育士は離れた所に連れて行って、「お友達も遊びたいのに 君が順番を守らないとお友達もかなしいよ」と話し、子どもも納得して再び遊び出しました。女の子が一人落ち葉に興味を示すと保育士はすぐ寄り添い話しをしています。

散歩から帰ると給食です。外で遊んできたのでみんな良く食べています。何度もお代りする子どもいます。サラダにむせた子どもに保育士は少なめに盛り付け直したり、ブドウの苦手な子どもには少し減らしたりと子どもの好き嫌いを把握しているようです。終わりの挨拶をして、洗面台そばの長椅子に座り歯磨きをします。終わった子から保育士は仕上げ磨きをしています。

3歳児クラス(すみれ組)

朝の会終了後、お茶を済ませてコップを片付けた子どもが園庭側の遊具コーナーに移動すると、保育士は「椅子取りゲーム」の準備をします。ルールを会話のキャッチボールで説明しています。「気を付ける事は?」「走らない、ぬかさない、押さない、ケンカしない」「負けて泣くのは?」「だめ」「2人が一緒に座ったら?」「じゃんけん」「負けた人は、勝った人を応援しようね」保育士のピアノ伴奏で歩き出し、大股になったり、飛び跳ねたり。伴奏が止まり座れなかったり、じゃんけんでは負けたりした子どもに声掛けしてなだめます。大泣きしてしまう子どもに、落ち着くまで待って抱っこしながら「泣かないお約束だよ。

ちゃんと一緒に応援しようね」となだめ、最後の2人が残った時には機嫌を直して「がんばれ～」と拍手をしながら応援しています。子どもたちが楽しく、仲良く安全にゲームを行なえるよう声掛けや目配りがされています。注目して欲しいときには「いいですか?」と問い、子どもたちは「いいですよ」と答えています。今度は洗面台前に集合、保育士は子どもたちに声掛けしながら次の小麦粉粘土の準備をしています。

4歳児クラス(ひまわり組)

「自分の好きな色で紙飛行機を作ります。黄色の人?」子どもたちは自分の好きな色の折り紙をもらい、折る手順を聞いてみんな真剣に紙飛行機を折ります。保育士は補助に入り、女の子同士で教えあう姿も見られます。全員完成して、「お散歩の準備をして下さい。紙飛行機は先生が持って行くね」川沿いの道を歩くと、他園の子どもたちとすれ違い「こんにちは」と挨拶を交わします。保育士の「風が強いね、飛行機大丈夫かな」の声に「大丈夫だよ」と答えます。公園に着いて「お約束ね。道路は?」「だめ」「公園から出るのは?」「だめ～」「鳩の近くには行かないでね」「は～い」一列に並んで笛の合図で紙飛行機を飛ばします。「上に向けて飛ばすといいよ、力を入れると下に落ちちゃうよ」とアドバイスを聞き、みんな元気に走り回ります。子どもの輪が広がっていくと「ひまわりさ～ん」と声掛けして子どもを集めます。一斉に紙飛行機を飛ばすと、「すごい、すごい」「やったー」と歓声が上がります。「あと、ラスト3回。3回飛ばしたら、座って、お茶、飲もうね。」

保育室に戻って給食の準備。お当番がエプロンと三角巾を付けて配膳します。みんな食欲旺盛で「お代わり」の声があちらこちらから聞こえます。

5歳児クラス(ゆり組)

朝の挨拶に続いてお当番が前に出て「今日は 月 日 曜日です」と告げ、保育士は一人一人点呼します。手を挙げて返事をする子どもに「元気だね」「おっ、いいね」と子どもの顔を見ながら声を掛けています。お茶の後、保育士が製作の準備をするのを、子どもたちは口を閉じて静かに見守っています。12等分

した紙を見せて「これ何に見える?」「おしり、もも、ハート」「では、次は?」「ほし」「いつもは好きな色だけど今日はみんなで一つの物を作るのでこの色です。みんなで力を合わせて作ります」みんな真剣に紙に向かって色を塗ります。「お箸を持つ手は右手、右側に糊を塗って紙を貼ります」「こちらのグループは赤が下で・・・、こちらのグループは赤が上で・・・」「私のは、こうだよ。先生これでいいの?」確認をしながら進めます。同じように別の紙も「次がお茶碗の持つ手は左手、左側に貼ります。こっこのグループは黒が上・・・」みんな黙々と製作をしています。「さあ、どんなになるかな?」「何ができるかな? 離れてこっちから見てごらん」子どもたちは興味津々「星になった」「できた」「なった、なった」トリックアートと言う難しい絵も、一人一人が作ったものが集まると大きな星に、反対側から見るとハートが出来ました。



事業者コメント

太陽の子鴨居駅前保育園は開園から3年目を迎え、全職員が日々の保育の振り返り・見直し、また客観的な評価をしていただくために受審いたしました。保護者の方々の意見などは特に貴重な物になりましたので真摯に受け止め、これからの保育につなげていけるように全職員が常に心掛け努力していきたいと思いをします。

また、地域のニーズ・子育て支援サービスの提供などを取り入れることも今後の課題ですので、職員同士でよく話し合い、園全体で取り組んでいきたいと思いをします。

今回の結果を踏まえて子ども・利用者・地域の方々が安心して過ごせる園に一層していきたいと思いをします。今後ともよろしくお願いをいたします。

最後になりますが、お忙しい中アンケートにご協力して頂きました保護者の皆様ありがとうございました。

太陽の子 鴨居駅前保育園

福祉サービス第三者評価 評価機関

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 認証番号 2510-002-01

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>

